

学ぶ輪がひらく心と郷土の未来

第10回「教育の日」

多彩なプログラムに多くの市民が参加

今年、記念すべき十回目を迎えた「教育の日」は、九月十三日から四日間にわたって多彩な行事が繰り広げられました。初日は、小学生によるトランペット鼓隊の市中パレードで開幕。翌十四日は、中学生、高校生による弁論大会や川上源太郎氏の講演。そして十五日は教育を考える集会や学ぶ集いなどの行事が行われ、多くの市民の参加で、教育を考える有意義な日となりました。このほか、発明工夫展や図画・書道・版画展には子供たちの力作が展示され、鑑賞する人たちににぎわいました。



▶市内11小学校のトランペット鼓隊で「教育の日」をPR

「子育てについて」熱っぽくディスカッション

教育を考える集会 保育園児から高校生までの子供を持つ父母五人が、子育ての体験を交えて発表した後、二十世紀の社会を担う子供たちの教育や大人の役割について活発な意見が交わされました。



昭市青少年健全育成弁論大会



体験を通して強く訴える

青少年健全育成弁論大会 弁論大会には、中学生八人、高校生五人が出場し、体験などを通して感動したことや考えさせられたことを訴え、聴集から大きな拍手を浴びていました。

〈弁論大会の入賞者〉

中学の部

- ・最優秀賞 蒔苗公利(一中)
- ・優秀賞 一関正男(南中)

沼倉奈美子(東中)

高校の部

- ・最優秀賞 山本陽子(東高校)
- ・優秀賞 佐々木浩(〃)

〈記念論文の入賞者〉

- ・最優秀賞 黒木玲子(常盤木町)
- ・優秀賞 古沢三樹夫(雪沢)

泉 勝衛(根下戸町)



▶ふだん見ることのできない十字架や「ゲッセマネの祈り」の聖像画も展示されました。

曲田聖堂の聖像画展

◀神明幼稚園の子供たちによる元気なトランペット演奏や大正琴サークルによる大正琴の昔懐かしい調べ、そして力強い東中太鼓演奏など、日ごろの練習の成果を発表しました。

楽しく学ぶ集い



曲田聖堂の聖像画展

東京フィルハーモニー交響楽団

とき・11月11日(月) 午後6時30分

入場料・S席3,000円
A席2,500円
B席2,000円

指揮・手塚幸紀
ヴァイオリン独奏・潮田益子

曲目

・モーツァルト 「フィガロの結婚」序曲

入場券発売日 10月1日

・シューベルト 交響曲第8番「未完成」

・ラロ スペイン交響曲

・ストラビンスキー 組曲「火の鳥」

市民文化会館事業

とき・10月26日(土) 午後6時30分

入場料・S席 2,500円
A席 2,000円
B席 1,500円

ソ連演劇界の巨匠
A・エーフロスが栗原小巻と
劇団東演の精鋭で創り上げた
トルゲーネフの代表作

入場券は発売中
です

劇団東演公演「ナターシャ」(原野「村の七日」)

◆入場券発売所

市民文化会館(☎49-7066)、秋北バス本社観光案内所、正札竹村、秋北ホテルターミナル旅行案内所、いとく大館ショッピングセンター、又久書店、大森商店(花岡)、阿部履物店(十二所)